

速報 平成30年度全国学力・学習状況調査結果(下野市の概要)

平成30年8月
下野市教育委員会

平成30年度の全国学力・学習状況調査の下野市の結果(国語、算数・数学、理科)は、小・中学校ともに全国平均正答率を上回る結果となりました。また、小学校は全教科全ての領域で、中学校は数学の1領域を除いた全ての領域で、全国平均正答率を上回る結果となりました。

平成30年4月17日(火)実施

【調査の対象】

- 小学校調査 小学校第6学年
- 中学校調査 中学校第3学年

【全国学力調査】

- 国語、算数・数学 A問題(主として「知識」に関する問題)
- 国語、算数・数学 B問題(主として「活用」に関する問題)
- 理科 * A・B問題を一体的に出題

- ◇国語の領域(小・中)「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
- ◇算数の領域(小)「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
- ◇数学の領域(中)「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」
- ◇理科の領域(小)「物質」「エネルギー」「生命」「地球」
(中)「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」「地学的領域」

【全国学習状況調査(児童・生徒質問紙)】

- 質問数 小学校62問、中学校59問
- 回答方法 選択等
- 質問内容 小学校、中学校ともにほぼ同じ内容
 - 達成感、挑戦、長所、目標 ○規範意識、いじめ、人の役に立つ人間
 - 朝食 ○起床・就寝時刻 ○家庭学習(計画、宿題、予復習)
 - 学習時間、学習塾、読書時間 ○家庭でのコミュニケーション
 - 地域・社会への関心 ○新聞・ニュースの利用
 - 授業における発表、話し合い活動
 - 算数・数学の学習 ○理科の学習 ○問題の解答時間 等

【児童・生徒のデータについて】

- *下野市 市内小中学校全校のデータ
- *栃木県 公立小中学校全校のデータ
- *全国 公立小中学校全校のデータ

平成30年度全国学力・学習状況調査(学力調査)結果

下野市と全国平均正答率との比較【H21～30全体比較】

※ H23、24 は抽出調査

- 大きく上回っている (5ポイント以上) ○上回っている (1ポイント以上5ポイント未満)
 -同じ (±1ポイント未満)
 ▼下回っている (1ポイント以上5ポイント未満) ▼大きく下回っている (5ポイント以上)

| 小学校 | H21 | H22 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 中学校 | H21 | H22 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 国語A | ○ | ○ | ○ | ▽ | ▽ | - | ○ | ○ | 国語A | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 国語B | ○ | - | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | 国語B | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 算数A | - | ○ | ○ | - | - | - | ○ | ○ | 数学A | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 算数B | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 数学B | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 理科 | / | / | / | / | ○ | / | / | ○ | 理科 | / | / | / | / | ○ | / | / | ○ |

全国学力調査結果 下野市と全国平均正答率との比較【H30領域別比較】

- ◎大きく上回っている (5ポイント以上) ○上回っている (1ポイント以上5ポイント未満)
 -同じ (±1ポイント未満)
 ▼下回っている (1ポイント以上5ポイント未満) ▼大きく下回っている (5ポイント以上)

| 小学校国語 | 国語A | 国語B | 中学校国語 | 国語A | 国語B |
|----------------------|-----|-----|----------------------|-----|-----|
| 話すこと・聞くこと | ○ | - | 話すこと・聞くこと | ○ | ◎ |
| 書くこと | - | ○ | 書くこと | ○ | - |
| 読むこと | - | ◎ | 読むこと | ○ | ○ |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ○ | / | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | - | ○ |

| 小学校算数 | 算数A | 算数B | 中学校数学 | 数学A | 数学B |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| 数と計算 | ○ | ○ | 数と式 | - | ○ |
| 量と測定 | - | ○ | 図形 | ○ | ○ |
| 図形 | ◎ | ○ | 関数 | ○ | ○ |
| 数量関係 | ○ | ○ | 資料の活用 | ▽ | ○ |

| 小学校理科 | | 中学校理科 | |
|----------|---|----------|---|
| 主として「知識」 | ◎ | 主として「知識」 | ○ |
| 主として「活用」 | ○ | 主として「活用」 | ○ |
| 物質 | ○ | 物理的領域 | - |
| エネルギー | ○ | 化学的領域 | ○ |
| 生命 | ◎ | 生物的領域 | ○ |
| 地球 | ◎ | 地学的領域 | ○ |

1 小学校の全国学力調査結果について

国語のA問題では、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で3～4ポイント全国の平均正答率を上回り、「書くこと」「読むこと」では、全国の平均正答率と同程度でした。国語のB問題では、「読むこと」で6ポイント以上、「書くこと」で3ポイント以上全国の平均正答率を上回り、「話すこと・聞くこと」で1ポイント程度上回りました。

算数のA問題は、「図形」で6ポイント程度、「数と計算」「数量関係」で2～4ポイント全国の平均正答率を上回りました。「量と測定」は全国の平均正答率と同程度でした。算数のB問題は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全ての領域で全国の平均正答率を3～5ポイント上回りました。

理科では、主として「知識」に関する問題で8ポイント、主として「活用」に関する問題で4ポイント程度全国の平均正答率を上回りました。領域別では「エネルギー」「生命」「地球」の3領域で5ポイント以上全国の平均正答率を上回りました。

2 中学校の全国学力調査結果について

国語のA問題は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で4ポイント程度、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で1ポイント程度全国の平均正答率を上回りました。国語のB問題は、「話すこと・聞くこと」で5ポイント以上、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で2ポイント程度全国の平均正答率を上回りました。

数学のA問題では、「資料の活用」で全国の平均正答率を3ポイント近く下回りましたが、他の3領域では全国の平均正答率を1～3ポイント程度上回りました。B問題では、「数と式」で2ポイント近く、他の3領域では4ポイント程度全国の平均正答率を上回りました。

理科では、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題ともに全国の平均正答率を2～3ポイント程度上回りました。「物理的領域」で全国の平均正答率を1ポイント近く上回り、他の3領域では2～4ポイント近く上回りました。

3 小・中学校の全国学習状況調査結果について

今年度の学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果は、「1. 当てはまる」「2. どちらかといえば、当てはまる」等の肯定的な選択肢から集計しました。

小学校、中学校ともに全国平均と比較すると全体的によい傾向にあり、県平均と比較すると、小学校では22項目、中学校では9項目下回りました。

項目別に見ると小中学校ともに「地域の行事への参加」や「理科の授業への関心」でよい傾向が見られました。また、小学校では「就寝時刻」「地域の大人との関わり」について、中学校では「家庭学習」「課題解決への取組」「自分の考えを伝える工夫」「話し合い活動で自分の考えを深めたり広げたりすること」などについてよい傾向が見られました。

今後、この結果を分析し、学校・家庭・地域における学習指導や生活指導の工夫改善等に生かし、児童・生徒のさらなる学力向上につなげていきたいと考えています。